

七尾市 議会 だより

2025年8月

82号

目次

- 2 …… 6月会議の概要
- 3 …… 各委員会・分科会の審査結果
- 4～10 …… 一般質問（14名）
- 11 …… 採決結果一覧・政務活動費
- 12 …… 議員表彰、議会の動き など

能登島へまたのお越しを!

本年6月16日、応急復旧工事が完了した中能登農道橋（ツインブリッジのと）は、車両片側交互通行ではあるものの暫定的に供用を開始した。能登島にある観光施設へのアクセスが向上するだけでなく、奥能登の復旧復興のための作業や支援に携わる人々の宿泊場所の選択肢が格段に上がる。「何よりも『心の距離』が縮まるのがうれしい」という地元の声は、中能登農道橋が市民生活に欠かせないものとなっていることを如実に物語っている。そういう意味では、この暫定的供用は復興への大きな架け橋だ。

（関連質問：原田一則議員 山添和良議員）



6月 会の概要

令和7年度七尾市議会定例会6月会議は、6月10日(火)から6月26日(木)までの17日間の会期で行われました。

今会議では、14名の議員が市政一般について質問を行いました。

議案等については、議会提出の議会議案1件および議案12件、報告4件が市長より提出され、審査の結果、全ての議案と報告は可決および承認されました。(報告7件は議決不要)。

最終日の6月26日には、追加議案5件、同意案1件、意見書提出による議会議案1件についても提出され、すべて可決および同意されました。

また、今定例会の会期は、令和7年6月10日から令和7年9月30日までの113日間とすることが決まりました。

議案第4号 令和7年度七尾市一般会計補正予算(第2号) 議案第16号 令和7年度七尾市一般会計補正予算(第3号) 総額232億5,722万5千円を可決!

今回の補正予算では、国が創設した「能登創造的復興支援交付金」や県の「令和6年能登半島地震復興基金」を活用し被災者支援を充実させるほか、復興公営住宅の建設や田鶴浜小学校の改築、その他災害復旧に必要な費用などを計上する。さらに住宅の再建や耐震化に対する支援を充実させるほか、国の「重点支援地方交付金」を活用した物価高騰対策を行う。

主な事業の内容

【議案第4号、第16号】

令和7年度七尾市一般会計補正予算(第2号)、令和7年度七尾市一般会計補正予算(第3号)

被災者等支援事業

新 住まいの復旧支援事業費……………12億3,000万円

住まいの日常生活に必要な不可欠な修繕に対する支援
(準半壊・一部損壊世帯)

内容：対象工事費(応急修理制度補助金分除く)の20%
(上限30万円)

新 住まいの再建支援事業費……………14億5,050万円

住まいの再建・修繕に対する支援(半壊以上世帯)

内容：新築・購入 上限200万円(子育て世帯250万円)
修繕 上限100万円(子育て世帯125万円)

災害復旧事業

過年発生公立学校施設災害復旧事業費……………23億3,183.5万円

田鶴浜小学校の校舎改築に係る災害復旧工事
(田鶴浜放課後児童クラブ分含む)

物価高騰対策

家計等支援事業費……………5,803.5万円

水道料金(基本料金)の免除に係る経費
※期間：令和7年8月～10月(3か月間)

第1回 臨時会 の概要

令和7年度第1回七尾市議会臨時会は、令和7年5月23日(金)の1日間の会議期間で行われ、議案第1号「工事請負契約の締結について」を含む議案3件が提出され、審査の結果、すべての議案は可決されました。

【議案第1号】 工事名 令和7年度南ケ丘地区大規模盛土滑動崩落防止工事

【議案第2号】 工事名 七尾市緊急防災情報報告システムデジタル同報系整備工事

【議案第3号】 工事名 令和7年度 6災61号七尾市和倉温泉運動公園(テニスコート)都市災害復旧工事

令和7年度第1回臨時会 採決結果一覧表

■=全会一致 ■=賛成多数 ■=賛成少数

第1回臨時会において、提案された議案等の結果は下記の通りです。なお、山崎議長は、採決には加わりません。

議 案 名		採決結果
議案第1号	工事請負契約の締結について	可決
議案第2号	工事請負契約の締結について	可決

議 案 名		採決結果
議案第3号	工事請負契約の締結について	可決

各常任委員会に付託を受けた議案および予算決算常任委員会各分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

総務企画

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

◆委員長／木下美也子 ◆副委員長／高橋正浩
◆委員／西川英伸、山崎智之、永崎陽

主な審議内容

【議案第4号】

令和7年度 七尾市一般会計補正予算(第2号)

◆リーダー的職員(トレーナー)の養成研修について

- 問この研修の目的を伺う。
- 答目的は2点あり、職員同士の信頼関係を深め、職員が働きやすい環境をつくる事と、職員同士の対話交流と改善提案により市役所内の現状の課題を改善する事を目的としている。そのために、対話のファシリテーションができ、そして組織内の職員に対する勉強会等の自主運営を行える「トレーナー」を育成するための研修である。
- 問トレーナーとなる職員の負担が大きいのではないか。
- 答養成の段階で一時的に職員の負担が増えるのは承知している。

6月会議

【第1回臨時会】

委員会付託 ・議案 2件
分科会分担 ・なし

【6月会議】

委員会付託 ・議案 3件
・報告 1件
分科会分担 ・議案 2件

秘書人事課としては、所属課長に対して、市全体の組織としての改善の取り組みである点の理解を求めた上で、研修へ参加する職員への配慮を求めている。

問業者選定はどのように行うのか。

答複数の事業者に参加していただけるよう他の事業者の意見も聞きながら、改めて仕様を定め、7月から8月にかけて公募型のプロポーザルにより選定する。

教育民生

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

◆委員長／江曾ゆかり ◆副委員長／原田一則
◆委員／和田内和美、山添和良、木下敬夫、中西庸介

主な審議内容

【議案第4号】

令和7年度七尾市一般会計補正予算(第2号)

◆七尾美術館管理費について

- 問七尾美術館屋上防水等改修工事の追加の計上額が大きすぎる。復旧工事をしていく中でさらに雨漏り箇所が見つかったとのことだが、当初で気が付かなかったのか。
- 答災害復旧工事をしている中で、雨漏りの原因となる箇所をさらに発見した。雨漏りの箇所を特定するのは難しく、大きな面的に直すことが必要となったため、1,599万4千円の計上となった。

6月会議

【第1回臨時会】

委員会付託 ・なし
分科会分担 ・なし

【6月会議】

委員会付託 ・議案 2件
・報告 1件
分科会分担 ・議案 3件

【議案第15号】

財産の取得について

◆児童生徒学習用端末について

- 問1台あたりの金額はいくらか。また、何台購入予定か。
- 答1台当たり47,000円と消費税がかかる。2,864台を購入する予定としている。
9月30日までに随時学校へ導入していく予定である。

産業建設

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

◆委員長／佐藤喜典 ◆副委員長／瀬戸三代
◆委員／山花剛、徳田正則、垣内武司、今田勇雄

主な審議内容

【議案第4号】

工事請負契約について

◆和倉温泉運動公園(テニスコート)の復旧工事について

- 問大規模な大会を開催している市外県外の同規模テニスコートに比べ、雨天時の排水能力が著しく低いことを、現場の声を含めて認識しているか。
- 答6面ずつ4ブロックのうちの一部で排水が若干悪いことは伺っている。復旧工事の際に暗渠の工事等を踏まえてしっかりと話をしていきたい。

第1回臨時会

【第1回臨時会】

委員会付託 ・議案 1件
分科会分担 ・なし

【6月会議】

委員会付託 ・議案 5件
分科会分担 ・議案 5件
・報告 2件

【議案第4号】

令和7年度七尾市一般会計補正予算(第2号)

◆なかじま猿田彦温泉いやしの湯の設備修繕について

- 問設備修繕が無駄にならないよう、また、指定管理料の範囲で運営努力していただきたいと考えるがいかがか。
- 答民間のノウハウを活かした集客に努めてもらえるようにしていきたい。

6月会議

一般質問



徳田 正則 議員
(新政会)



■浄化槽の復旧と都市計画の見直しについて

質

浄化槽及び都市計画について、次の4点を伺う。

- ①合併浄化槽の被災数と復旧数は。
- ②借家や集合住宅などは浄化槽復旧の補助対象にならないのか。
- ③今回の地震により合併浄化槽で下水処理をしている地区も一部あることから都市計画事業の見直しが必要ではないか。
- ④都市計画区域を見直すべきではないか。

答

①一般住宅の個人設置型浄化槽約4、000基のうち591基の被災を確認しており、134基が復旧済みである。市内5業者に進捗状況を確認したところ222件が未着手だが応急修理を行い現在使用できない浄化槽はないと聞いている。

②賃貸住宅の事業用資産は、建物所有者が保険等に加入するなどの備えが基本であり、被災後の支援は融資が原則であると考えている。

③下水道事業は石川県が策定する生活排水処理構想に基づき整備を実施しており、令和8年度に区域の見直しを行う予定である。

④都市計画区域は、下水道事業や都市計画事業を行うためだけでなく、長期的、総合的な視点から市街地を中心とした一体の都市として保全する必要がある平野部と丘陵地とし、区域内の開発行為に対し規制、指導もできるため、豊かな自然や田園風景などを保存していく役割もある。また、都市計画税は、特定の地域の税収を当該地区で使うのではなく、長期的なまちづくりを進めるという観点から、区域全体の事業に使うものと考えている。現在のところ見直しは考えていないが、今後の復興や都市計画事業を検討していく中で、再度確認していきたい。

一般質問



木下 敬夫 議員
(無会派)



■被災住宅の再建について

条件である年度内工事完了期限の延長を！

質

①準半壊、一部損壊の損害を受けた住宅の再建を後押しするために、市独自で最大30万円を助成することだが、応急修理制度を利用した世帯も、この制度が使えるのか伺う。また、年度内の工事完了が条件となっているが、あらゆる業種で業者、職人不足が起きているため、延長も視野に入れているのか考えを伺う。

②石川県6月会議で、馳知事は、内灘町以北の12市町を対象に、住宅の新築・購入、修繕の費用の補助を拡充し、さらに市町が上乗せ可能と発表した。住み慣れた地域に自宅を再建してもらうことが定住人口の確保や地域コミュニティの維持にも重要なことと考える。本市も県と連動し、追加の支援を行うのか伺う。

答

①準半壊の判定を受けた住宅で、応急修理制度を利用している世帯もこの制度を使用でき、既に修理が終わっている住宅に対しても支援を適用する。期限は令和8年3月31日までに修理を終えることを条件としているが、延長については、状況を見て柔軟に判断したいと考えている。

②市の独自の上乗せとして、高校生以下の子供がいる世帯は増額し、手厚い支援を行っていききたい。

一般質問

■観光推進について



原田 一則 議員
(灘会)



観光客の受入れ体制の充実を！

質

①能登島地区の観光推進を図るために、観光客の受入れ体制の充実が必要である。地震発生から通行止めとなっている農道長崎17号線、18号線の交通に支障を来している雑木についての調査、伐採について、市の考えを伺う。

②旅行割商品の発行について、3月会議の答弁では、観光誘客には非常に有効な手段だが、宿泊施設の再開の状況が違いため、バランスを取って実施するのが課題とのことだった。この夏、秋に向け、市独自の制度設計を組み、宿泊施設を応援する必要があると考えるが、見解を伺う。

答

①交通に支障となる枝などの状況調査が必要と認識している。今後、調査を実施し、8月末の通行止め解除までに交通の支障となる枝などの伐採を行っていききたいと考えている。

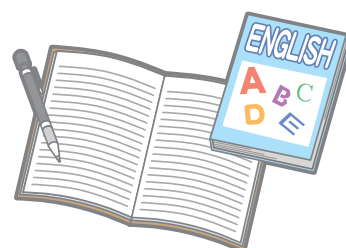
②石川県で、能登観光の支援策として、(仮称)能登応援割の開始を検討していると聞いている。市独自の旅行支援の対策は、県の動向やツインブリッジのとの開通による効果、和倉温泉の復旧状況等を見極めた上で、効果的な旅行割商品を出していきたいと考えている。

一般質問

■学力向上の一方策として



木下 美也子 議員
(無会派)



英語検定受験料の補助制度を！

質

現在、全国各自治体で英語検定受験料の補助制度を導入している自治体がある。生徒が自らの英語力を把握し強化していくことで学力の向上に資するというのが補助制度導入自治体の趣旨となっている。七尾市の生徒の語学力の現状も踏まえて、同様の制度を導入する考えがないか伺う。

答

グローバル化が加速する中であって、国際共通語である英語力の向上は極めて重要であり、市内4中学校においても英語検定受験を勧めているところである。七尾市の令和6年度における中学3年生の英語検定3級以上の取得率は30.2%であり、中能登教育事務所管内の市町平均と比較して4.3%下回っている。

英語検定は、英語能力の客観的な証明だけではなく、取得に向けて学習への意欲向上も期待されるため、受験料の補助制度は学力向上の一方策として有効であると考えており、今後の制度導入に向けた財源の確保に努めてまいりたいと考えている。

一般質問

和田内 和美 議員
(無会派)

■復興公営住宅の建設について

整備地域選定において、十分な考慮を！

質

避難生活の長期化に伴い、一日も早い恒久住宅への移行が切実に望まれている。整備地域の選定に当たっては、被災者の生活圏や交通の利便性、医療、福祉施設の近接性等を十分に考慮すべきものと考えるが、現時点での整備計画と市としての基本方針について伺う。

答

復興公営住宅の整備予定地域については、入居希望者にアンケートを行っており、入居したい地区についても質問している。その調査内容を踏まえ、具体的に建設する場所については、安全性や利便性、交通の便や買物、病院の位置などに十分に配慮し、建設場所を決定している。

整備スケジュールについては、現在は市有地である小丸山市営住宅の跡地、旧田鶴浜保育園、旧中島中学校跡地、中島コミュニティセンター熊木分館のグラウンド、能登島定住促進住宅の横に整備を進めており、これらの住宅の入居期間は、小丸山団地は令和8年8月頃、旧田鶴浜保育園、中島コミュニティセンター熊木分館は令和9年3月頃、旧中島中学校、能登島定住促進住宅横は令和9年6月頃を予定している。その他の地域については、民有地など地域と協力しながら整備場所を検討し、全ての復興公営住宅を令和10年4月頃の入居を目指して整備したいと考えている。

一般質問

佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)

■公立能登総合病院・看護師について

質

看護師の人手不足が深刻化している中で、次の3点伺う。

- ①看護師不足の現状と今後の見通しについて
- ②看護師不足を解消するため働きやすい環境を整えることについて
- ③看護師不足が影響して起き得る問題について

答

①正規職員314人、会計年度任用職員31人、計345人の看護師が在職し、昨年度の離職者は、結婚による転居など6人で離職率は1.9%、全国平均の11.3%の半分以下となっている。今後の採用の見通しについて懸念はあるが、令和8年度の第1回採用試験で、募集人員15人程度には満たなかったものの相当数受験していた。

②働きやすい環境を整え、職員の満足度やモチベーションを高めることが離職防止につながると考え、育児支援として男性職員を含めた育児休暇の取得推進、各病棟などをローテーションする新人看護師臨床研修、能登北部病院の新人看護師も含めた合同実習などを実施している。その効果もあつてか新人看護師の離職者はここ数年一人もいない状況である。

③仮に当院で看護師不足が生じると、病棟の勤務体制の確保が難しくなり、入院の受入れが制限されるなど非常事態に陥る可能性があり、住民の安心した暮らしを支えるセーフティネットが維持できなくなるのが想定されるため、実習生の受入れ、看護養成施設への訪問、就学資金の貸与や就職セミナーの参加等により看護師を確保するとともに、魅力ある職場づくりを推進し、安定した病院経営に努めていきたいと考えている。

一般質問



瀬戸 三代 議員
(無会派)



■能登震災被災者の医療費窓口負担の免除の期限延長について

弱者の為に、立ち直る時間を！

質 先行きが不透明で、かつ仕事もない、金もない、終の棲家も決まっていない中、病院代だけは無料という事で心が和らぐ面があった。国は3か月延長と発表しているが、6月末日が期限である七尾市は、9月末日まで延長するのか伺う。

答 国民健康保険の被保険者のうち、住宅が半壊以上の罹災判定を受けた方々に、医療費の窓口負担分免除を実施しており、期間は6月末日までとしている。7月以降については、県内の各市町は、財政状況などにより延長しないことで足並みが揃っている。後期高齢者医療保険についても同様である。

理由として、国保会計の状況で、団塊の世代が後期高齢者になることで被保険者数が大幅に減り、保険税収が減少する中、医療費は増大傾向である。他にも同じ国保加入者や後期高齢者の場合で、在住の市町によって窓口負担の有無があることは望ましくないことも挙げられる。

実際、県内19市町のうち、13市町で令和7年度から保険税の引上げを実施し、医療費の増加に伴う財源の確保にかじを切っている状況である。当市の国保会計においては、医療費が増大している中で保険税の据置きを行っており、収支はさらに厳しさを増している。

よって、国民健康保険制度そのものの状況や周辺自治体等の状況を踏まえると、被災者を対象とした国民健康保険の医療費の一部負担の免除は6月までとし、延長しないこととしたので、理解いただきたい。

一般質問



高橋 正浩 議員
(無会派)



和倉温泉

■能登創造的復興支援交付金の活用について

交付金と復興基金を組み合わせ、効果的な活用を！

質 七尾市の復興における最重要課題の一つが和倉温泉の機能回復であり、和倉温泉の事業関係者の方々や商工会議所、そして七尾市役所が総力を挙げてこれに挑まなければいけない。和倉温泉の復興支援としてこの交付金をどのように活用してきたか、あるいは今後どのように活用していくのか伺う。

答 能登創造的復興支援交付金は、石川県に500億円が交付され、そのうち七尾市には26億8,000万円余りが配分されることとなっている。交付金の活用として、今回の6月補正予算では、準半壊・一部損壊の住まいの修繕支援や、被災宅地等の復旧支援事業の上乗せ分に係る経費などを計上している。

また、同交付金を活用した和倉温泉への支援については、和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会の関係者から聞き取りを実施し、和倉温泉創造的復興プランの具現化に向けた事業計画を県を通じて国に提示し、交付金の活用ができるかどうかの確認を求めているところである。今後、交付金の活用が可能であれば、随時予算化していきたいと考えている。

交付金の使い道に関しては、今、各自治体でどのようなものを使うかというような要望等を県で集約しながら、精査していただいているところである。これからフェーズが変わることに必要なものというのは変わってくると思っており、段階ごとに必要なことを要望していきたいというふうに考えている。

一般質問



山添 和良 議員
(市民クラブ)



■能登和倉万葉の里マラソンについて

参加希望者の声に応え再開せよ！

質

ツインブリッジのとの復旧工事の進捗状況によっては、能登和倉万葉の里マラソンの再開が期待される。再開を心待ちにしているランナーは多い。また、大会に参加することで、能登の復旧復興に役立ちたいと考えている人も多い。そうした参加希望者の声に応えていただきたい。ところで、「能登和倉万葉の里マラソン」の復活に期待している」と就任挨拶していた星野弘幸副市長の出身地でおこなわれた「新潟ハーフマラソン2024」では、能登半島地震の被災地向け参加料の一部を寄付していた。そうした支援の思いに応える意味でも、できるだけ早く能登和倉万葉の里マラソンの再開を期待したいが、市の考えを伺う。

答

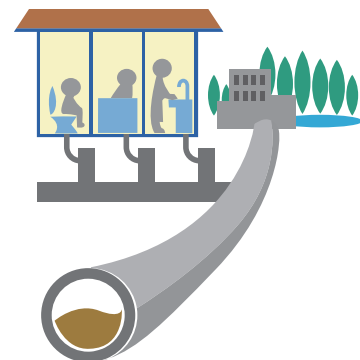
マラソンのルートとなるツインブリッジのとや湾岸道路などの道路は、通行できるものの、アスファルトのひび割れや路面のこぼれ、路面と路肩に段差が残るなど、大勢のランナーが走るには大変危険な状況と考える。

また、参加ランナーの宿泊先の問題やマラソンの発着点である和倉温泉についても、営業が再開されていない旅館も多い状況であるため、どのような形で取り組んでいけるかを考えていく必要がある。近日中に、能登和倉万葉の里マラソン組織委員会を開催し、内容について検討していきたいと考えている。

一般質問



永崎 陽 議員
(新公会)



■インフラ（上下水道）の老朽化対応について

市民生活に大きな影響がないよう更新整備を！

質

上下水道設備における老朽化問題、それに加えて能登半島地震の災害復旧について、今後の計画を伺う。

今後、人口減少に伴う家庭用の有収水量の大幅な減少が見込まれるが、現在の下水処理場の在り方をどのようにとらえているか伺う。

答

上下水道施設の更新計画は、施設の耐用年数や点検報告書、老朽化状況を考慮して、優先順位を定めて施設の更新を行っている。現在は、災害復旧工事を優先して行っており、耐震化工事も兼ねている。今後も上下水道施設の適切な維持管理を図るため、災害復旧箇所以外の施設についても、更新計画に基づき老朽化対策に取り組んでいきたい。

人口減少に伴い汚水量や使用量が少なくなることから、維持管理費用の削減のため、処理場の統合や機器類の更新時には現状の汚水量に合わせた機器による更新を行っている。処理場の統合については、平成30年度から令和5年度にかけて田鶴浜地区、中島地区の一部で実施している。

本年度以降の計画については、下水道管の災害復旧状況を見ながら、田鶴浜地区では吉田処理場を田鶴浜処理場へ、中島地区では北免田、藤瀬処理場を中島処理場へ統合する計画である。

今後も下水道事業会計の健全化を図るため、処理場の統合に取り組んでいきたい。

一般質問



江曾 ゆかり 議員
(無会派)



■男女共同参画の視点からの防災・減災・復興支援策について

防災の分野に女性の視点を！

質

①防災の分野においても男女共同参画の視点が求められている中、地方防災会議への女性参画について、国が目標とする30%の達成を、今後、どのような展望で臨まれるのか伺う。

②いまだに市営住宅は、友人同士や同性パートナーとの入居はできない。多様な生き方に対する理解促進は当然のこと、復興公営住宅入居時には、制度実施が必要と思うが、市の考えを伺う。

答

①防災・減災対策に女性の視点を積極的に取入れているため、防災会議を構成する関係団体に、女性委員の登用を働きかけ、委員構成の見直しを進める。

目標の30%が現実のものになるよう、次回の任期に向けて取り組んでいきたいと考えている。

②現在、友人同士や同性パートナーとの入居についての問合せや相談がないため考えてはいないが、今後、同性パートナーの入居についての問合せや相談があれば、前向きに検討していきたいと考えている。

一般質問



山花 剛 議員
(無会派)



■なかじま猿田彦温泉いやしの湯の再開に向けた対応について

質

施設再開に向けた対応について、次の4点を伺う。

①再開に向けたこれまでの対応と進捗について

②指定管理者の不在と体制再構築の遅れについて

③市による直営・暫定運営の可能性について

答

①能登半島地震以降に休館、令和6年3月に当時の指定管理者に対し不可抗力による指定の取消しを行った。再開に向け、令和6年7月に受電池を復旧し、施設への通電が可能となり、温泉・空調・給水の設備稼働確認を順に実施し、修繕が必要な箇所の特定を行ってきた。

②指定管理をするために施設の復旧が必要であり、修繕が必要な箇所の特定や、工事内容の協議、管理方法の検討などに時間を要したことが主な要因である。

③改めて検討したが、人員配置や専門的な施設管理体制が必要なため、直営は難しいと判断している。

④営業再開に向けた施設の復旧工事費などについて順次進めていくこととしており、6月2日からは指定管理候補者の公募を行っているところである。指定管理候補者が決まれば、9月会議において、指定管理料の補正予算並びに指定管理者の指定の議案を上程したいと考えている。その後、指定管理者と協定の締結後、営業再開時期などを協議の上、決定していきたいと考えている。単なる入浴施設ではなく、地元の方々にとって情報交換や人と人が触れ合える大切なコミュニケーションの場所であると認識しており、市として一日も早く再開できるよう取り組んでいく。

一般質問



中西 庸介 議員
(新政会)



湯元の広場にある涌浦乃湯壺

■和倉温泉の復旧に向けての現況について

和倉温泉へ対する思いを伺う！

質

和倉を取り巻く環境は大変厳しく、経済も破綻状況である。和倉に出入りをしている食料関係、飲料関係、その他多くの関係者からも悲鳴を聞く。市長の和倉に対する強い思いを伺う。

また、6月の議案において、和倉温泉に関連した案件があまり反映されていないのではないか。そのことについても所見を伺う。

答

和倉温泉は当市のみならず、能登の観光の拠点であり、和倉温泉の復興なくして能登の復興はないという思いで取り組んでいる。これまでも護岸や道路などの大規模な復旧工事や旅館の公費解体などについて、国・県の協力も得ながら進めている。

また、今年度の当初予算で、和倉温泉運動公園、多目的グラウンドやテニスコート、ヨットハーバー、そして、和倉温泉湯つ足りパークなどの観光交流施設の復旧工事を計上し、それを着実に進めている。今後も、Sea級グルメ全国大会やわくら千年桜プロジェクトなど復興に係るイベントの実施や誘客促進など、にぎわい創出に向けた様々な取組を行い、引き続き一日も早い和倉温泉の復旧・復興に向けて、強い気持ちで取り組んでいきたいと考えている。

一般質問



西川 英伸 議員
(市民クラブ)



■住まいの課題について

公費解体における関係者の情報共有を！

質

罹災証明を基に市、災害総合支援窓口、構造物解体協会の元請業者、現場に来る下請業者、この間で意思の疎通がもつと図られるべきだと考える。公費解体の進め方について、石川県構造物解体協会との連携をはじめ、市民への説明はどのように行っているのか伺う。

答

申請書類の審査を受理した後、申請者御本人による立会いをいただし、解体対象物の特定、工事費積算のための測量などを行う事前立会いを実施している。事前立会いの結果により、申請内容の修正・変更などが生ずるもの、周辺状況によって直ちに解体ができないような事案もある。

また、工事費用の積算については、日本補償コンサルタント復興支援協会からの算定内容をいただいて、それが適正であるかどうかを確認できたものから、石川県構造物解体協会に対して、アスベスト調査、解体撤去を指示する流れとなっている。

構造物解体協会では、市からの指示書に基づいて、順次、アスベスト調査を実施するとともに、申請者との間で工事着手日程の調整、解体に係る諸手続の準備が整い次第、解体に着手しているところである。今、申し上げた流れについては、つかさつかさで申請者の方に案内をしているところであり、引き続き申請者にとって分かりやすい案内に努めていきたい。

申請の受理から解体に着手、完了するまで、いろんな方々が携わるので、情報共有ということは当然であり、今後もしっかりと取り組んでいきたい。

令和7年度定例会6月会議 採決結果一覧表

■=全会一致 ■=賛成多数 ■=賛成少数

6月会議において、提案された議案等の結果は下記の通りです。なお、山崎議長は、採決には加わりません。

議 案 名			採決結果
議案第4号	令和7年度七尾市一般会計補正予算(第2号)		可決
議案第5号	令和7年度七尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		可決
議案第6号	令和7年度七尾市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)		可決
議案第7号	令和7年度七尾市水道事業会計補正予算(第1号)		可決
議案第8号	令和7年度七尾市下水道事業会計補正予算(第1号)		可決
議案第9号	七尾市税条例の一部を改正する条例について		可決
議案第10号	七尾市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について		可決
議案第11号	七尾市本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について		可決
議案第12号	七尾市能登島生涯学習総合センター条例の一部を改正する条例について		可決
議案第13号	七尾市農村多目的集会所条例の一部を改正する条例について		可決
議案第14号	「農地・農業用施設災害復旧事業に関する基本協定の締結について」の議決の一部変更について		可決
議案第15号	財産の取得について		可決
議案第16号	令和7年度七尾市一般会計補正予算(第3号)		可決
議案第17号	令和7年度七尾市水道事業会計補正予算(第2号)		可決

議 案 名			採決結果
議案第18号	七尾市議会議員及び七尾市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び七尾市議会議員及び七尾市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例について		可決
議案第19号	七尾市選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		可決
議案第20号	「工事委託契約の締結について」の議決の一部変更について		可決
報告第1号	令和6年度七尾市一般会計補正予算(第14号)の専決処分の報告について		承認
報告第2号	令和7年度七尾市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について		承認
報告第3号	七尾市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について		承認
報告第4号	七尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について		承認

議 案 名			採決結果
同意案第1号	人権擁護委員の推薦について ■中村 洋子 ■荒巻 幸子 ■延命 喜美子 ■津田 康子 ■岡島 新治		同意

議 会 議 案 名			採決結果
議会議案第1号	七尾市議会委員会条例の一部を改正する条例について		可決
議会議案第2号	脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書		可決

令和6年度 七尾市議会政務活動費 収支報告一覧

会派名 (無会派は議員)	灘 会	新政会	あすなろ	市民クラブ	(無会派)	(無会派)
	今田 勇雄 垣内 武司 山崎 智之 原田 一則	永崎 陽 中西 庸介 徳田 正則	木下 敬夫 瀬戸 三代 木戸奈諸美 (~10月)	佐藤 喜典 山添 和良 西川 英伸	木下 敬夫 (11月~3月)	高橋 正浩
交 付 決 定 額	1,440,000円	1,080,000円	630,000円	1,080,000円	150,000円	360,000円
支 出 総 額	459,697円	423,755円	103,720円	487,445円	57,960円	20,900円
調 査 研 究 費		387,280円				
研 修 費				178,760円		
広 報 費				32,576円		
広 聴 費						
要請・陳情活動費	401,430円		103,720円	207,040円	51,660円	
会 議 費						
資 料 作 成 費						
資 料 購 入 費	58,267円	36,475円		69,069円	6,300円	20,900円
人 件 費						
事 務 所 費						
会派名 (無会派は議員)	(無会派) 瀬戸 三代 (11月~3月)	(無会派) 山花 剛	(無会派) 江曾ゆかり	(無会派) 木下美也子	(無会派) 和田内和美	
交 付 決 定 額	150,000円	360,000円	360,000円	360,000円	360,000円	
支 出 総 額	0円	130,170円	50,000円	54,827円	0円	
調 査 研 究 費						
研 修 費			50,000円			
広 報 費		130,170円				
広 聴 費						
要請・陳情活動費				51,860円		
会 議 費						
資 料 作 成 費						
資 料 購 入 費				2,967円		
人 件 費						
事 務 所 費						

議員活動を称える（議員表彰）

山崎議長、山添議員に対し、市議会議員として長年の功績が称えられ、「全国市議会議長会」、「北信越市議会議長会」及び「七尾市議会」から、表彰状と記念品が贈られました。

【在職 15 年】



山崎 智之 議長

【在職 15 年】



山添 和良 議員

議会の動き

4月	15日	北信越市議会議長会評議員会・定期総会（長岡市）
	23日	議会運営委員会
	28日	能登繊維振興協会通常総会（中能登町）
5月	7日	全国伝統工芸品振興市議会協議会定期総会（東京都）
	14日	志賀原子力発電所視察（志賀町）
	19日	全国温泉所在都市議会議長協議会役員会・総会（東京都）
	20日	全国市議会議長会定期総会（東京都）
		七尾港整備・振興促進協議会総会
	21日	石川県市議会議長会中央要望（東京都）
	23日	議会運営委員会
		全員協議会
		令和7年度第1回臨時会
	29日～31日	3委員会合同行政視察（宮城県仙台市、塩竈市）
6月	2日	全員協議会
		予算決算常任委員会協議会
	6日	議会運営委員会

6月	10日	のと里山空港利用促進議員連盟総会（金沢市）
	10日～26日	令和7年度定例会6月会議
	18日	議会運営委員会
	19日	議会運営委員会
	20日	議会運営委員会
	26日	全員協議会
		予算決算常任委員会協議会協議会 議会改革特別委員会 議会だより編集委員会
7月	30日	能登五市議会議長会定期総会（珠洲市）
	7日	議会運営委員会
		能越自動車道建設促進期成同盟会総会（富山県高岡市）
	10日	日本海六県港湾都市議会協議会役員会・総会（秋田県男鹿市）
	11日	能登総合開発促進協議会理事会・総会（金沢市）
	14日	のと里山空港利用促進協議会総会（輪島市）

編集後記

わかりやすく親しみやすい議会だよりをめざして編集作業をおこなっていますが、市民の皆様に満足していただいているかどうかは気になることです。右側にありますQRコードを読み取っていただいてアンケートにお答えいただければ幸いです。皆様の思いに寄り添いより関心の高い議会だよりになるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

編集委員長 山添 和良

議会だより編集の参考にするためアンケートにご協力をお願いします

アンケートの所要時間は1分程度（3問）です。下のQRコードからアクセスできます。また、アンケートについては、個人情報等の入力はありませんので、気軽にアンケートへのご協力をお願いいたします。

